



みんなでつくる世界遺産のあるまち鎌倉に向けて

[平成24年度版]

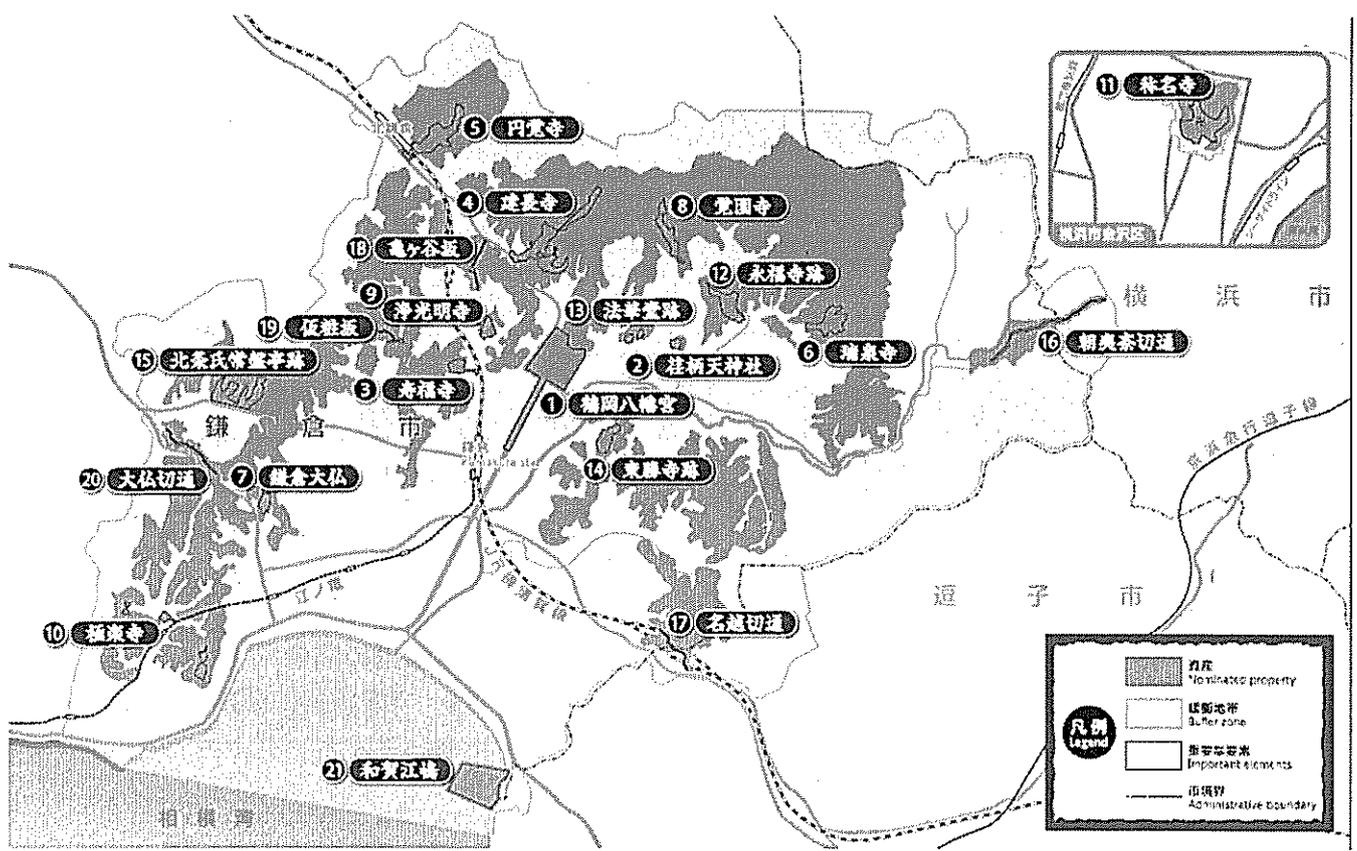
政策分野	個別目標	個別施策	施策の進め方(基本的な考え方)
I 資産保存・管理 「武家の古都・鎌倉」を後世に	1 構成資産等の保存・管理	ア 市民による構成資産等保全活動	<ul style="list-style-type: none"> 構成資産と歴史的遺産の保存を目的とする、ボランティアによる史跡の見守り活動を実施する 市民活動団体等による構成資産等における保全活動等の拡大を図る 鎌倉風致保存会等公的団体、緑のレンジャー等市民団体との連携による、構成資産やバッファゾーンの樹林地の管理を促進する
		イ 保存・管理	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的風土特別保存地区の指定拡大に向けて、国、県、市の協議調整の進展を図る 古都保存法で指定された、国民共通の資産である古都の歴史的風土を後世に伝えられるよう、国・県・市・市民の役割分担を踏まえた保全のあり方等の検討を進める 構成資産、バッファゾーンにおける許認可事務等について、県市で適切な連絡体制を継続していく 市による樹林管理事業の継続を図る
II 観光 世界遺産ブランドで県域の魅力UP	1 世界遺産を巡る安心ルートの整備	ア (仮)安心歩行ルートの設定(重点整備ルート)	<ul style="list-style-type: none"> 市民、観光客等の安心歩行を促進するため、資産をめぐる(仮)安心歩行ルートを設定するとともに、各道路管理者の相互協力のもと、重点整備ルートも設定する
		イ あんしん公衆トイレの整備	<ul style="list-style-type: none"> 観光客のトイレへの不安を軽減するよう、(仮)安心歩行ルートに沿った整備を図る トイレは市が設置するほか、民間施設の協力・活用を図る 整備に当たっては外国人観光客への配慮を図る
		ウ 多言語表示の整備・促進	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産の構成資産等を明示した観光案内板、説明板等の多言語表記化を促進する 観光用サイン、大型こみ容器の多言語表記化を促進する
	エ 案内表記のデザイン、仕様の統一化	<ul style="list-style-type: none"> 案内板等のサインについて、わかりやすい表示をめざして、全体的なデザインや仕様等の整理、統一を図る方策を検討する 当面、構成資産の範囲を対象として、県及び関係機関と検討を進める 	
2 世界遺産登録を契機とした広域観光ルートの整備	ア 観光周遊ルートの開発・発信	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産登録を契機に、鎌倉への集客力を生かして県内の新たな観光ルートの開発、商品化の促進に向けた関連機関との協働への取組を進める 外国人観光客などを対象とし、県内外の観光地との組み合わせも視野に入れた、新たなルートを検討する 	
III 交通 武家の古都らしい「人」優先の交通環境実現	1 交通需要マネジメント及び公共交通機関利用促進	ア バス案内の充実・改善	<ul style="list-style-type: none"> 市民、観光客等の公共バスの利用を促進するため、バス案内表示の改善等について、関係機関及び、関連交通事業者と協議・検討を進める 観光客に優しいバスルートマップ、バス停ナンバリング化の実現に向けた検討を進めるとともに観光パンフレットへの記載について、関係機関、関連交通事業者と協議を進める
		イ パーク&ライドの整備・促進	<ul style="list-style-type: none"> 朝比奈方面におけるパーク&ライドの整備、促進をはかるため、関連市及び関係機関と協議、検討を進める 併せて、新たな観光周遊ルートの開発及び交通事業者による市内へのシャトルバスの運行について協議、検討をする
		ウ 環境手形の拡大	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産(重要な要素21カ所)を公共交通の利用と徒歩で観光できるよう、「環境手形」の対象範囲の拡大について交通事業者に要請する
	2 道路整備の促進	ア 武家の古都鎌倉主要県道の整備	<ul style="list-style-type: none"> (仮)安心歩行ルートと連動して、県道等の歩行空間の改善方策(歩道拡幅、カラー舗装、無電柱化等)について、協議、検討を進める
		イ 武家の古都鎌倉主要市道の整備	<ul style="list-style-type: none"> (仮)安心歩行ルートと連動して、市道等の歩行空間の改善方策(歩道拡幅、カラー舗装、無電柱化等)について、検討を進める
		ウ 都市計画道路の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路の整備を進めるとともに、構成資産に配慮した都市計画道路の見直しを県等関係機関と協議し、実施する
IV 防災	1 津波災害対策	ア 海岸保全施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉のまちづくりの歴史や風致景観上の配慮から、避難タワー・避難ビル等の設置が困難な旧鎌倉エリアの津波対策を進めるため、海岸保全施設の整備を県に要望し、連携を図りながら取組を進める
	2 市民・観光客安全対策	ア 津波避難路の整備	<ul style="list-style-type: none"> 地理不案内の市民・観光客等を含めて安全な避難が行えるよう、景観に配慮した階段等による高台へのルートを確認するとともに、避難経路周知を行う
V 都市景観	1 景観向上の促進	ア 景観への配慮	<ul style="list-style-type: none"> バッファゾーン内の建築物・工作物等について、景観法等の制度を活用して適正な規制誘導を行うとともに、歴史的建造物の保全活用への支援を継続する 景観に配慮した配色による自動販売機等の設置地域の拡大を図るため、関係事業者と協議及び要請を行う
VI 環境	1 環境美化の促進	ア 路上喫煙マナーアップの推進	<ul style="list-style-type: none"> 吸い殻散乱のない安全で快適な生活環境を保全するため、喫煙マナーアップを継続して展開していく
		イ まち美化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体等との協働による、まち美化の取組(若宮大路をはじめ海岸等)の推進を継続する 「クリーンアップかまくら」等の事業の推進を継続する
VII 情報発信 「武家の古都・鎌倉」を世界に	1 世界遺産発信	ア 世界遺産ガイダンス施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産の内容や価値を分かりやすく紹介するガイダンス施設について、27年度開設をめざして準備を進める
	2 情報発信による地域盛り上げ	ア 「みんなでつくる世界遺産のまち鎌倉」キャンペーン	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産登録後を視野に、これからのまちづくりへの参加を呼びかけるため、キャンペーンを実施する
		イ ソーシャルメディアでの情報発信	<ul style="list-style-type: none"> Facebookを活用し、「武家の古都・鎌倉」の魅力を積極的に発信する(民間事業者との共同研究)
3 情報発信等	ア ご当地車両ナンバー調査・検討	<ul style="list-style-type: none"> 古都「鎌倉」ナンバーの登録に向けた調査・検討を開始する 	

「武家の古都・鎌倉」 世界遺産登録後のまちづくりについて

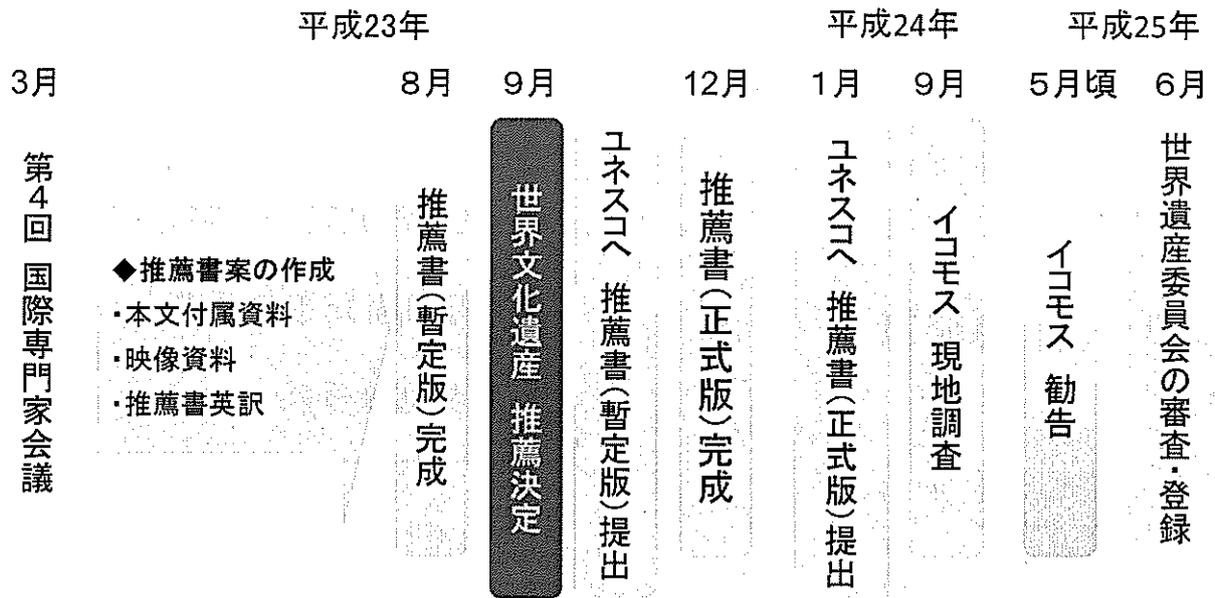
鎌倉市
世界遺産登録推進担当
松尾 隆雄



「武家の古都・鎌倉」の資産と構成する重要な要素

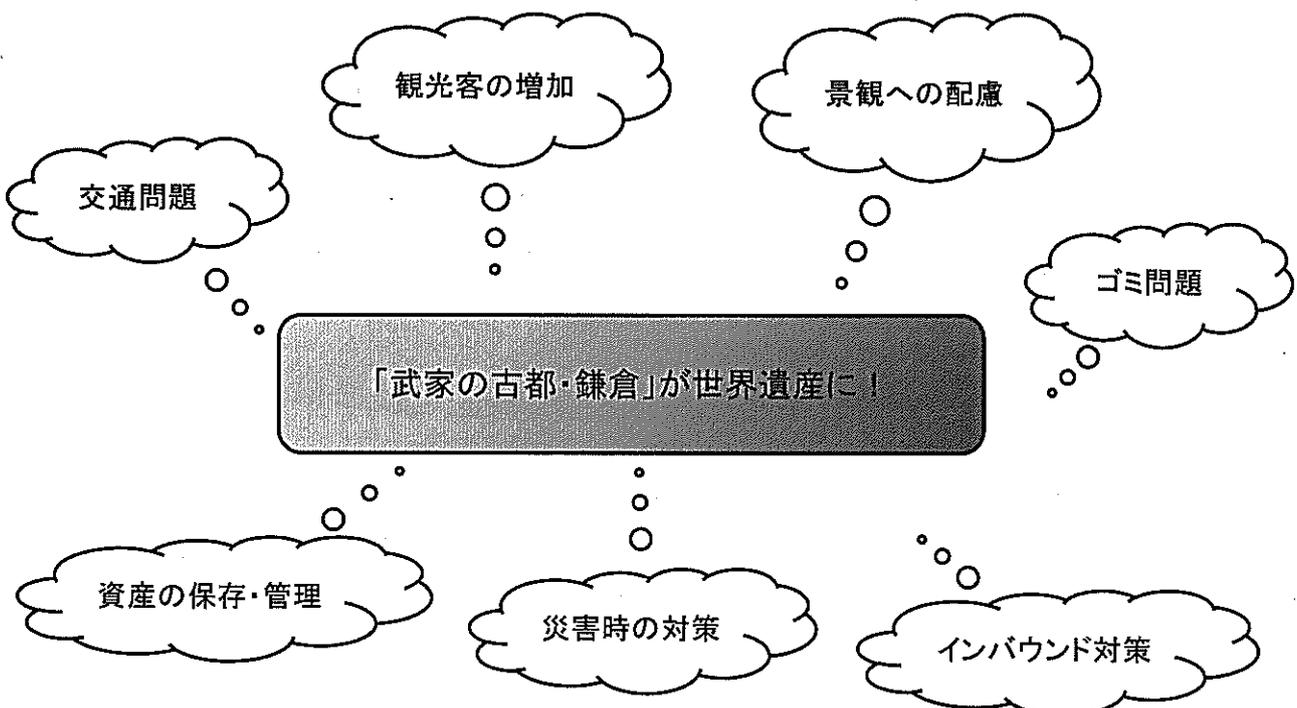


これまでの取組みと今後の予定②



5

世界遺産登録後の鎌倉



6

世界遺産登録の鎌倉市実施計画への位置づけ

第3次鎌倉市総合計画
第2期基本計画
後期実施計画
(平成23年作成)

3つの重点施策

ア 安全安心まちづくり対策の充実

イ 少子高齢対策の推進

ウ 世界遺産登録

市民・事業者・行政が一体となり、
登録及び登録後に向けた取組みを
進める。

7

課題を整理するために

- ・ 鎌倉の持つ行政課題を改めて整理・検討
- ・ 短期、中期、長期的な課題について考え、1つ1つ解決へ向けて取り組む

世界遺産登録を機に
まちづくりの方向性を共有することが必要



全庁で横断的に取り組むため、平成24年2月に
世界遺産のあるまちづくり推進検討委員会を設置

8

世界遺産のあるまちづくり推進検討委員会

検討委員会



検討部会



各課題を所管するセクション

委員 長：世界遺産登録推進担当を所管する副市長
副委員 長：経営企画部を所管する副市長
委 員：各セクションを所管する部長（8部）
事 務 局：経営企画課及び世界遺産登録推進担当
➡ 世界遺産のあるまちづくりに向けた、基本的事項の議論及び提起、具体的課題の整理及び調整

委員 長：経営企画課担当課長
副委員 長：世界遺産登録推進担当担当課長
委 員：各セクションの担当課長（18課）
事 務 局：経営企画課及び世界遺産登録推進担当
➡ 世界遺産のあるまちづくりに向けた、具体的課題・施策の調整、関連課との連携・共有、作業部会の設置

⇒課題の解決に向けた取組み

9

「みんなでつくる世界遺産のあるまち鎌倉に向けて」の作成

検討委員会

5回開催
(24年度まで)

検討部会

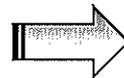
6回開催
(24年度まで)

課題の抽出

・鎌倉市の抱える課題を
政策分野ごとに整理

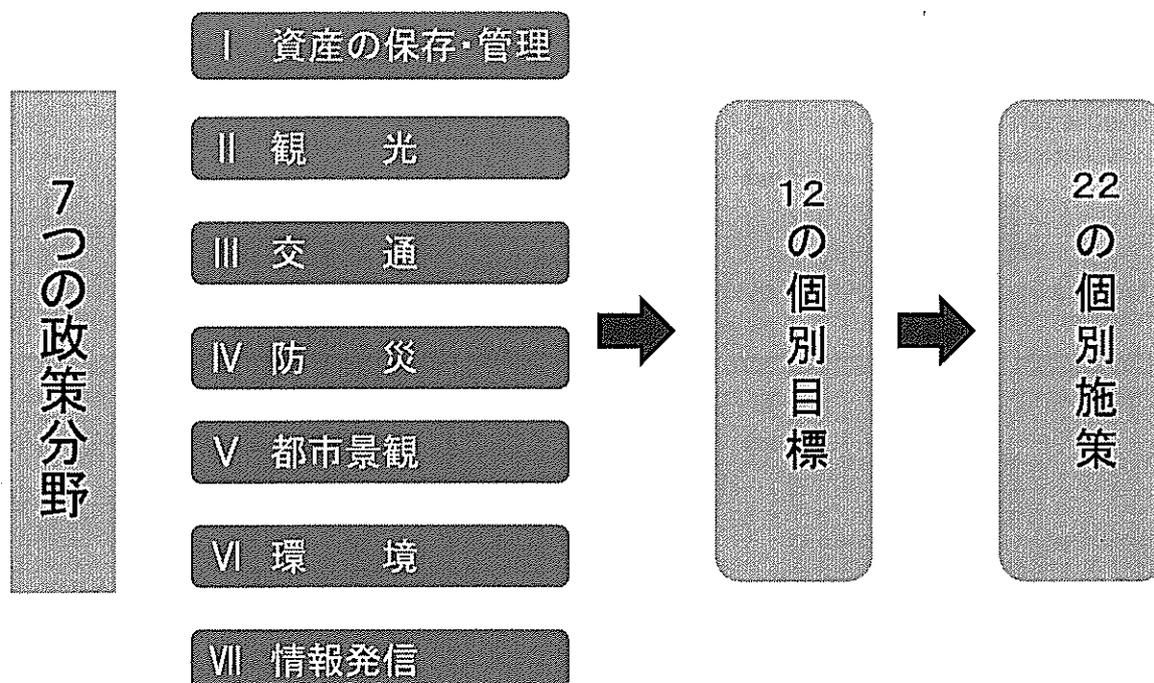
課題の検討

・新年度に行う事業を
重ねて検討



「みんなでつくる世界遺産
のあるまち鎌倉に向けて」
平成24年度版を作成

10



I 資産の保存・管理

個別目標

個別施策

1 構成資産等の
保存・管理

ア 市民による構成資産等保全活動

イ 保存・管理(行政の取組)

ア 市民による構成資産等保全活動

- ・構成資産や歴史的遺産などの保存・管理
ボランティアによる史跡の見守り活動の実施

⇒「武家の古都・鎌倉」見守り事業(平成24年7月～)
5つの市民団体が参加

- ・市民活動団体等による構成資産等における保全活動等の拡大

- ・市民団体との連携による、樹林地等の管理の促進
⇒鎌倉風致保存会等公的団体
緑のレンジャー 等

市民による保全活動



みどりのボランティアによる保全活動
朝夷奈切通(2010年)



鎌倉高校生徒による保全活動
東勝寺跡(2009年)

イ 保存・管理(行政の取組)

- ・歴史的風土特別保存地区の指定拡大に向けて、国、県、市の協議調整の進展を図る
- ・古都保存法で指定された、国民共通の資産である古都の歴史的風土を後世に伝えられるよう、国・県・市・市民の役割分担を踏まえた保全のあり方等の検討を進める
- ・構成資産、バッファゾーンにおける許認可事務等について、県市で適切な連絡体制を継続していく
4県市保存管理部会(平成23年12月設置)
- ・市による樹林管理事業の継続を図る

15

II 観 光

個別目標

個別施策

1 世界遺産を巡る 安心ルートの整備

ア (仮)安心歩行ルートの設定
(重点整備ルートの選定)

イ あんしん公衆トイレの整備

ウ 多言語表示の整備・促進

エ 案内表記のデザイン、
仕様の統一化

2 世界遺産登録を 契機とした広域 観光ルートの整備

ア 観光周遊ルートの開発・発信

16

1 世界遺産を巡る安心ルート

ア (仮)安心歩行ルートの設定(重点整備ルート)

- ・市民、観光客等の安心歩行を促進するため、資産をめぐる(仮)安心歩行ルートを設定し、周知する。
- ⇒各道路管理者の協力のもと、(仮)安心歩行ルートのうち重点整備ルートを選定

イ あんしん公衆トイレの整備

- ・観光客のトイレへの不安を軽減するよう、(仮)安心歩行ルートに沿った整備を図る
- ⇒トイレは市が設置するほか、民間施設の協力・活用を図る
- 整備に当たっては外国人観光客への配慮を図る

ウ 多言語表示の整備・促進

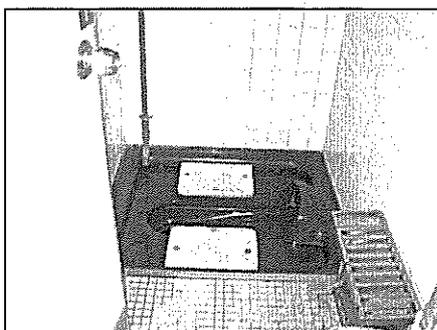
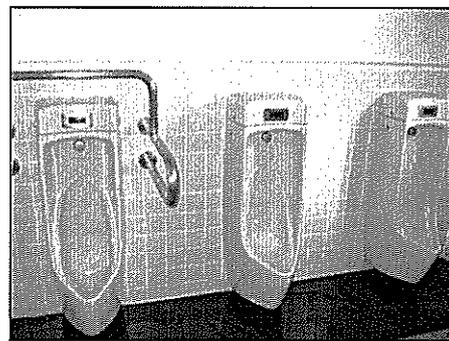
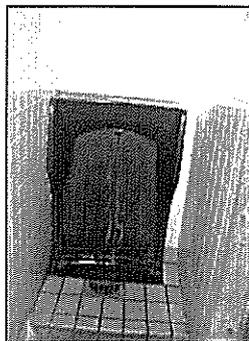
- ・観光案内板、説明板等への世界遺産の明示と多言語表記化を促進する
- ・観光用サイン、大型ごみ容器の多言語表記化を促進する

エ 案内表記のデザイン、仕様の統一化

- ・案内板等のサインのわかりやすい表示をめざして、全体的なデザインや仕様等の整理、統一を図る方策を検討する
- ・当面、構成資産の範囲を対象として、県及び関係機関と検討を進める

17

より快適なトイレに整備

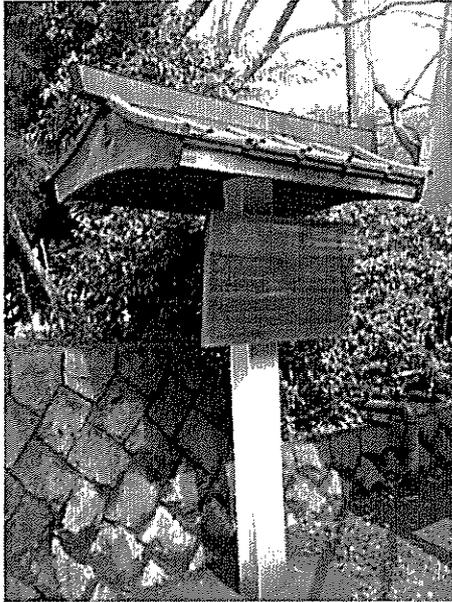


旧

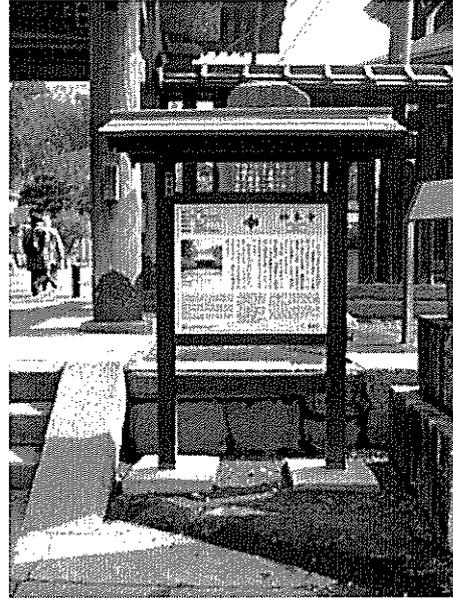
新

18

4カ国語表記の観光案内版へ



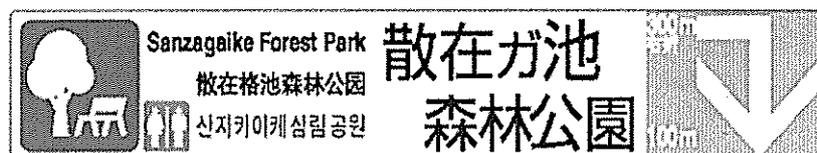
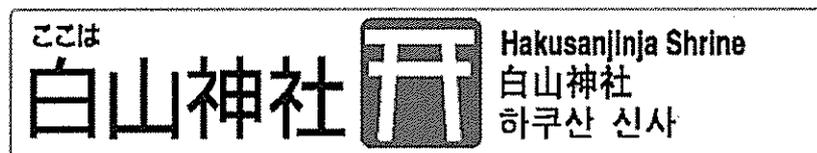
旧



新

19

案内サインの統一、整理



20

2 世界遺産登録を契機とした広域観光ルートの整備

ア 観光周遊ルートの開発・発信

- ・世界遺産登録を契機に、鎌倉への集客力を生かして県内の新たな観光ルートの開発、商品化の促進に向けた関連機関との協働への取組を進める
- ・外国人観光客などを対象に、県内外の観光地との組み合わせも視野に入れた新たなルートを検討する



21

観光地としての発信



2011年9月30日～10月2日 東京ビックサイトで開催された「旅博」の写真

22

III 交 通

個別目標

1 交通需要マネジメント 及び 公共交通機関利用促進

2 道路整備の促進

個別施策

ア バス案内の充実・改善

イ パーク&ライドの整備・促進

ウ 環境手形の拡大

ア 武家の古都鎌倉主要県道の整備

イ 武家の古都鎌倉主要市道の整備

ウ 都市計画道路の見直し

23

1 交通需要マネジメント及び公共交通機関利用促進

ア バス案内の充実・改善

- ・市民、観光客等の公共バスの利用を促進するため、バス案内表示の改善等について、関係機関及び、関連交通事業者と協議・検討を進める
⇒観光客に優しいバスルートマップ
バス停ナンバリング化の実現に向けた検討
観光パンフレットへの記載

イ パーク&ライドの整備・促進

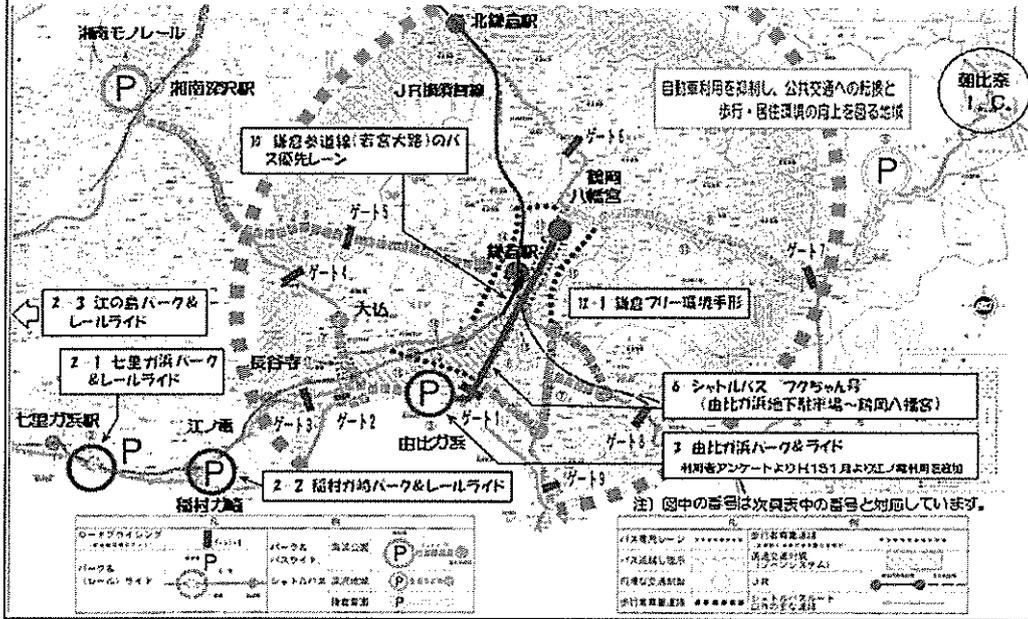
- ・朝比奈方面におけるパーク&ライドの整備、促進をはかるため、関連市及び関連機関と協議、検討を進める
- ・併せて、新たな観光周遊ルートの開発及び交通事業者による市内へのシャトルバスの運行について協議、検討をする

ウ 環境手形の拡大

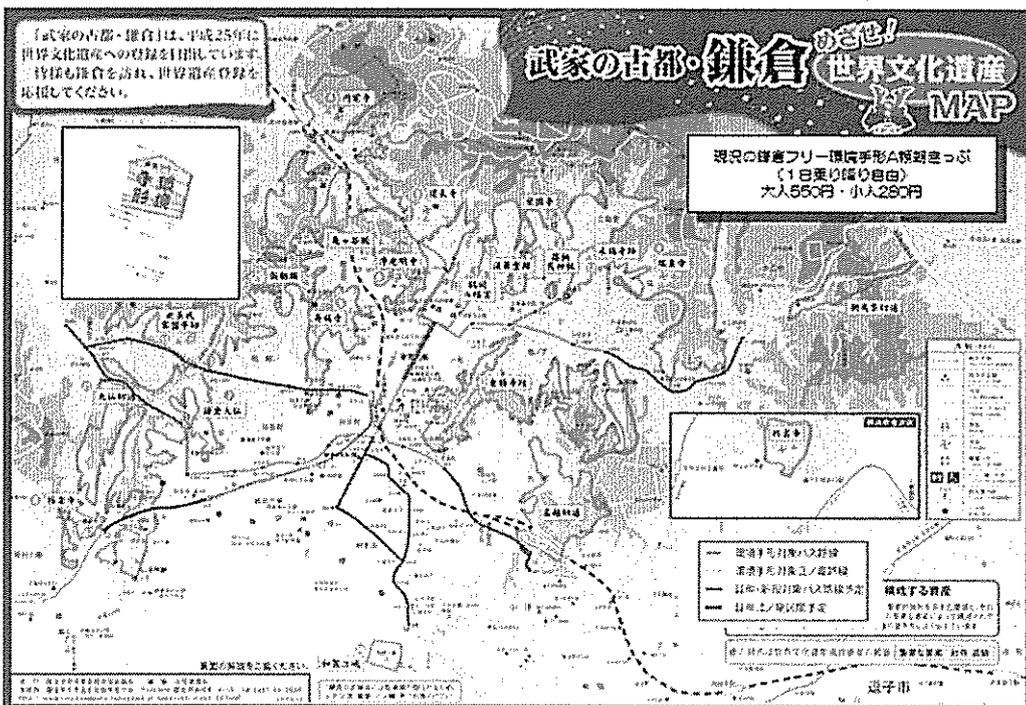
- ・世界遺産(重要な要素21カ所)を公共交通の利用と徒歩で観光できるよう、「環境手形」の対象範囲の拡大について交通事業者に要請する

24

鎌倉地域地区交通計画（20の施策）と社会実験を通じて実現した5つの施策



(仮称) 世界遺産手形



2 道路整備の促進

ア 武家の古都鎌倉主要県道の整備

- ・(仮)安心歩行ルートと連動して、県道等の歩行空間の改善方策(歩道拡幅、カラー舗装、無電柱化等)について、協議、検討を進める

イ 武家の古都鎌倉主要市道の整備

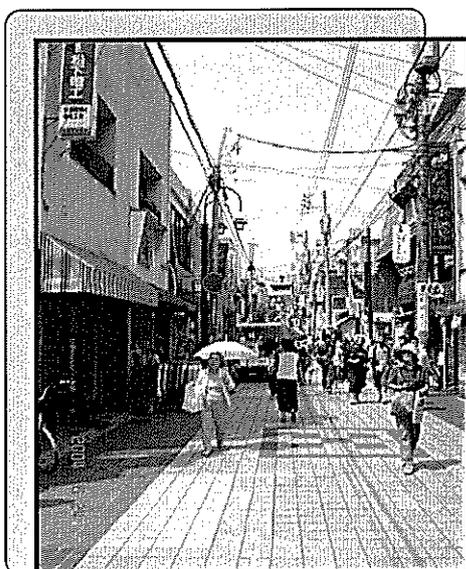
- ・(仮)安心歩行ルートと連動して、市道等の歩行空間の改善方策(歩道拡幅、カラー舗装、無電柱化等)について、検討を進める

ウ 都市計画道路の見直し

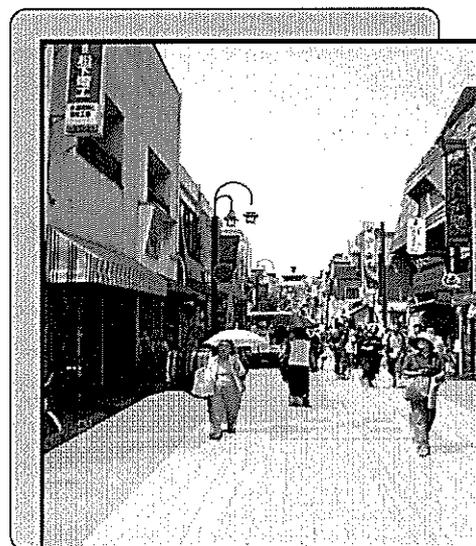
- ・都市計画道路の整備を進めるとともに、構成資産に配慮した都市計画道路の見直しを県等関係機関と協議し、実施する

27

電線を地中化した小町通りのイメージ



地中化前



地中化後

28

個別目標

個別施策

1 津波災害対策

ア 海岸保全施設の整備

2 市民・観光客
安全対策

ア 津波避難路の整備

29

1 津波災害対策

ア 海岸保全施設の整備

- ・鎌倉のまちづくりの歴史や風致景観上の配慮から、避難タワー・避難ビル等の設置が困難な旧鎌倉エリアの津波対策を進めるため、海岸保全施設の整備を県に要望し、連携を図りながら取組を進める



2 市民・観光客安全対策

ア 津波避難路の整備

- ・地理不案内の市民・観光客等を含めて安全な避難が行えるよう、景観に配慮した階段等による高台へのルートを確認するとともに、避難経路周知を行う



31

V 都市景観

個別目標

個別施策

1 景観向上の促進

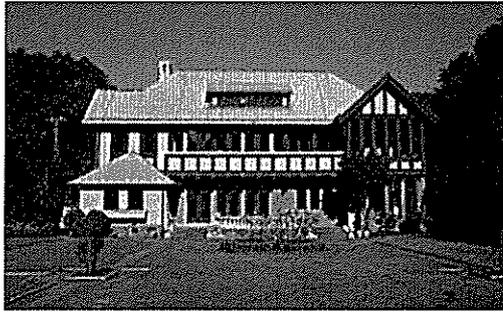
ア 景観への配慮

32

1 景観向上の促進

ア 景観への配慮

- ・バッファゾーン内の建築物・工作物等について、景観法等の制度を活用して適正な規制誘導を行うとともに、歴史的建造物の保全活用への支援を継続する
- ・景観に配慮した配色による自動販売機等の設置地域の拡大を図るため、関係事業者と協議及び要請を行う



歴史的建造物(旧華頂宮邸)

33

景観に配慮した配色の自動販売機



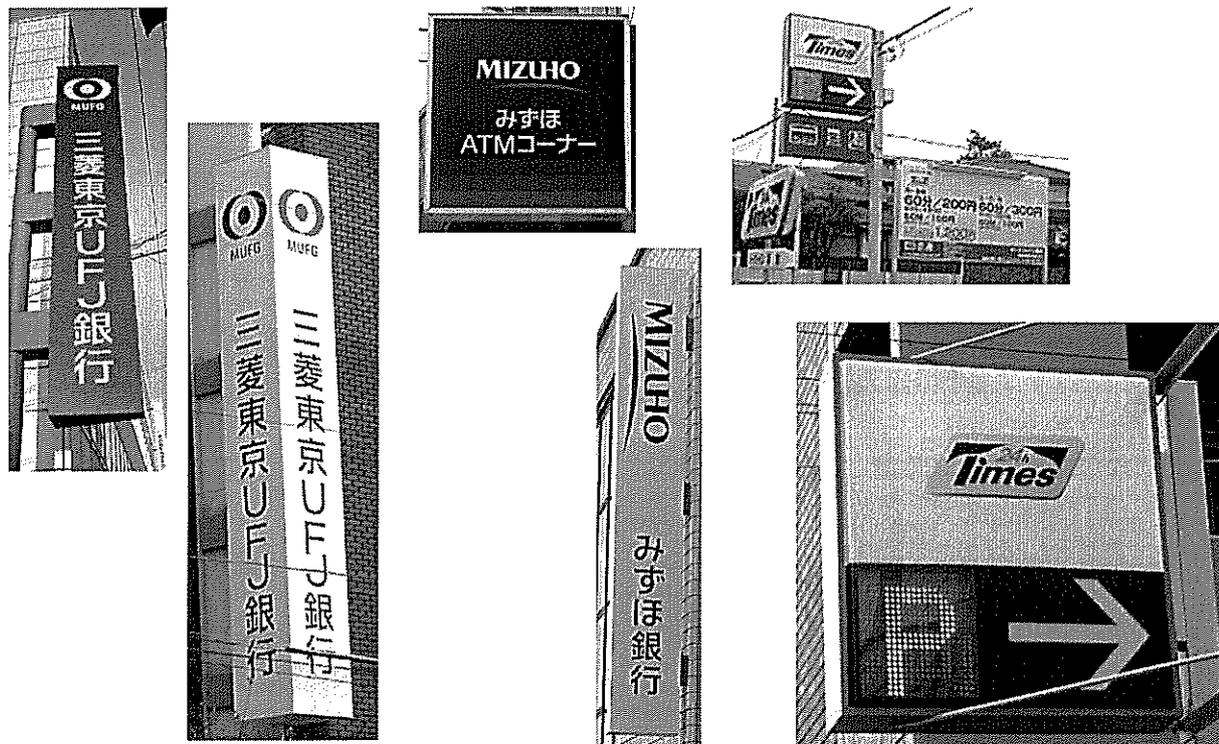
旧



新

34

景観に配慮した企業のサイン



35

VI 環境

個別目標

1 環境美化の促進

個別施策

ア 路上喫煙マナーアップ
の推進

イ まち美化の推進

36

1 環境美化の促進

ア 路上喫煙マナーアップの推進

- ・吸い殻散乱のない安全で快適な生活環境を保全するため、喫煙マナーアップを継続して展開していく



路上喫煙禁止区域のサイン(大船駅)

イ まち美化の推進

- ・市民活動団体等との協働による、まち美化の取組(若宮大路をはじめ海岸等)の推進を継続する
- ・「クリーンアップかまくら」等の事業の推進を継続する



37

VII 情報発信

個別目標

1 世界遺産発信

個別施策

ア 世界遺産ガイダンス施設の整備

2 情報発信による地域盛り上げ

ア 「みんなでつくる世界遺産のあるまち鎌倉」キャンペーン

イ ソーシャルメディアでの情報発信

3 情報発信等

ア ご当地車両ナンバー調査・検討

38

1 世界遺産発信

ア 世界遺産ガイダンス施設の整備

- ・世界遺産の内容や価値を分かりやすく紹介するガイダンス施設について、27年度開設をめざして準備を進める

2 情報発信による地域盛り上げ

ア 「みんなでつくる世界遺産のあるまち鎌倉」キャンペーン

- ・世界遺産登録後を視野に、これからのまちづくりへの参加を呼びかけるため、キャンペーンを実施する

イ ソーシャルメディアでの情報発信

- ・Facebookを活用し、「武家の古都・鎌倉」の魅力を積極的に発信する（民間事業者との共同研究）

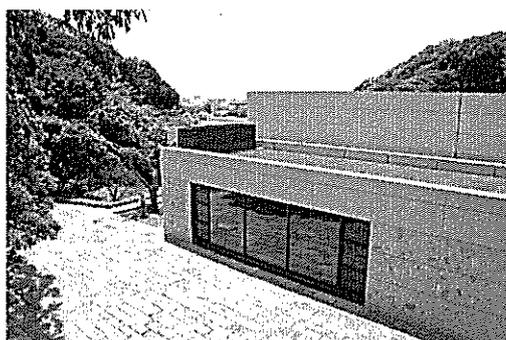
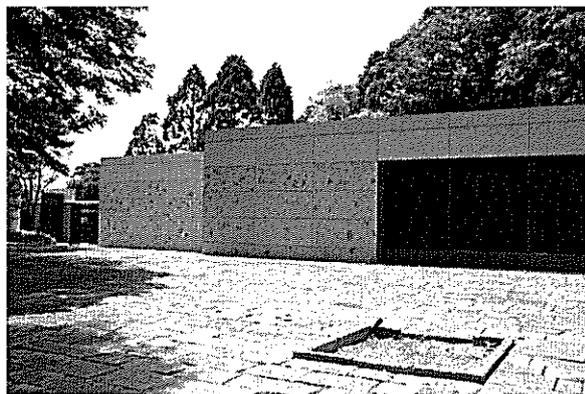
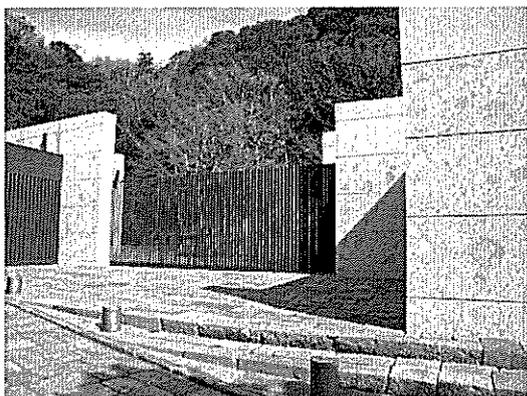
3 情報発信等

ア ご当地車両ナンバー 調査・検討

- ・古都「鎌倉」ナンバーの登録に向けた調査・検討を開始する

39

ア 世界遺産ガイダンス施設の整備



40

ア 「みんなでつくる世界遺産のあるまち鎌倉」キャンペーン



鎌倉駅東口に設置した
キャンペーンの上り旗

イ ソーシャルメディアでの情報発信



Facebookを利用した鎌倉のプロモーション活動
「1192かまくらさん」記者発表での写真

41

未来の鎌倉のために

鎌倉がより住みやすいまちになるように
誰もが安心して訪れることができるまちに
「世界遺産のあるまち」として誇りに思えるようなまちに



世界遺産登録を契機に.....

「みんなでつくる」という意識を共有し、
まちの課題にひとつひとつ取り組むことが大切

42

最後に

～みんなで作る世界遺産のあるまち鎌倉～

すでに発足した横断的組織

「武家の古都・鎌倉」
神奈川県推進本部

横浜市
世界遺産プロジェクト

鎌倉市
世界遺産のあるまちづくり
推進検討委員会

逗子市においても
組織検討中



4縣市

(神奈川県、横浜市、逗子市、鎌倉市)
と協働し、これらの取組みを
進める

43

終

平成25年3月18日
世界遺産登録推進担当作成